

新興企業市場の取引に関する説明書

お客様各位

水戸証券株式会社

お客様は次の内容を十分理解し、お客様の判断と責任において新興企業市場上場銘柄の取引を行ってください。
なお、当社の新興企業市場上場銘柄の取引ルールにつきましては、各銘柄が属する取引所の上場銘柄と同様の基準で行います。また、手数料につきましても水戸証券株式会社が定める株式委託手数料率といたします。

●マザーズ上場銘柄の取引に関する説明

- マザーズ上場銘柄の性格
マザーズ上場銘柄は東京証券取引所第一部・二部上場銘柄と比較し、成長の初期段階として高い成長性が見込まれる反面、企業規模が小さく、事業の継続が困難になる場合もあり得るので、リスクが高く、価格も大きく変動する可能性があることを理解してください。
- 上場の審査基準
東京証券取引所における上場審査は、第一部・第二部上場銘柄の場合、その企業の継続性や収益性に重点を置いて行われますが、マザーズ上場銘柄は、事業計画などをもとに高い成長性についての確認を行い、そのうえで企業内容等の開示の適切性や健全性に重点を置いています。
従って、企業の継続性や収益性についての審査は、行われていないことを理解してください。
- 情報の開示等
マザーズ上場企業は、上場前の公募増資には目論見書により企業リスク情報が詳細に開示され、更に上場後には有価証券報告書等の法定開示書類のほか、四半期毎の業績の開示が義務付けられていますので、これらの各種開示資料をお客様各自で確認してください。

●JASDAQ 市場グロース上場銘柄の取引に関する説明

- JASDAQ 市場グロース上場銘柄の性格
JASDAQ 市場には、一定の事業規模と実績を有し、事業の拡大が見込まれる企業を対象とする「スタンダード」と、特色ある技術やビジネスモデルを有し、将来の成長可能性に富んだ企業を対象とする「グロース」の2つの市場区分があります。
「グロース」上場銘柄は、「スタンダード」上場銘柄と比較し、成長の初期段階として高い成長性が見込まれる反面、企業規模が小さく、事業の継続が困難になる場合もあり得るので、リスクが高く、価格も大きく変動する可能性があることを理解してください。
- 上場の審査基準
大阪証券取引所における上場審査は、「スタンダード」の場合、その企業の継続性や収益性に重点を置いて行われますが、「グロース」は、特色ある技術やビジネスモデルの有無、将来の成長可能性に重点を置いています。
従って、企業の継続性や収益性についての審査は、行われていないことを理解してください。
- 情報の開示等
JASDAQ「グロース」上場企業は、上場前の公募増資には目論見書により企業リスク情報が詳細に開示され、更に上場後には有価証券報告書等の法定開示書類のほか、四半期毎の業績の開示が義務付けられていますので、これらの各種開示資料をお客様各自で確認してください。

●アンビシャス上場銘柄の取引に関する説明

- アンビシャス上場銘柄の性格
アンビシャス上場銘柄は札幌証券取引所上場銘柄と比較し、成長の初期段階として高い成長性が見込まれる反面、企業規模が小さく、事業の継続が困難になる場合もあり得るので、リスクが高く、価格も大きく変動す

る可能性があることを理解してください。

- 上場の審査基準
札幌証券取引所における上場審査は、その企業の継続性や収益性に重点を置いて行われますが、アンビシャス上場銘柄は、企業内容・リスク情報等の開示の適正性、企業の収益性、企業経営の健全性等に重点を置いています。
従って、企業の継続性についての審査は、行われていないことを理解してください。
- 情報の開示等
アンビシャス上場企業は、上場前の公募増資には目論見書により企業リスク情報が詳細に開示され、更に上場後には有価証券報告書等の法定開示書類のほか、四半期毎の業績の開示が義務づけられていますので、これらの各種開示資料をお客様各自で確認してください。

●Q-BOARD 上場銘柄の取引に関する説明

- Q-BOARD 上場銘柄の性格
Q-BOARD 上場銘柄は福岡証券取引所上場銘柄と比較し、成長の初期段階として高い成長性が見込まれる反面、企業規模が小さく、事業の継続が困難になる場合もあり得るので、リスクが高く、価格も大きく変動する可能性があることを理解してください。
- 上場の審査基準
福岡証券取引所における上場審査は、その企業の継続性や収益性に重点を置いて行われますが、Q-BOARD 上場銘柄は、企業経営の健全性や企業内容・リスク情報等の開示の適切性に重点を置いています。
従って、企業の継続性や収益性についての審査は、行われていないことを理解してください。
- 情報の開示等
Q-BOARD 上場企業は、上場前の公募増資には目論見書により企業リスク情報が詳細に開示され、更に上場後には有価証券報告書等の法定開示書類のほか、四半期毎の業績の開示が義務づけられていますので、これらの各種開示資料をお客様各自で確認してください。

●セントレックス上場銘柄の取引に関する説明

- セントレックス上場銘柄の性格
セントレックス上場銘柄は名古屋証券取引所第一部・二部上場銘柄と比較し、成長の初期段階として高い成長性が見込まれる反面、企業規模が小さく、事業の継続が困難になる場合もあり得るので、リスクが高く、価格も大きく変動する可能性があることを理解してください。
- 上場の審査基準
名古屋証券取引所における上場審査は、第一部・二部上場銘柄の場合、その企業の継続性や収益性に重点を置いて行われますが、セントレックス上場銘柄は、企業経営の健全性や企業の成長性、企業内容・リスク情報等の開示の適切性等に重点を置いています。
従って、企業の継続性や収益性についての審査は、行われていないことを理解してください。
- 情報の開示等
セントレックス上場企業は、上場前の公募増資には目論見書により企業リスク情報が詳細に開示され、更に上場後には有価証券報告書等の法定開示書類のほか、四半期毎の業績の開示が義務づけられていますので、これらの各種開示資料をお客様各自で確認してください。

以 上

※この説明書は大切に保管して下さい。